

歴史不華鏡

115回

幕末期の桜の名所

「孕山」

高知県立美術館
学芸員 中谷 有里



●おおつづみ 大海津見神社の鳥居と桜 (2021年3月 筆者撮影)

桜の花がきれいに咲く季節、毎年花見に行く計画を立てる方もいるのではないだろうか。もしくは川沿いを歩いている時、車を運転している時、偶然満開の桜並木に出会って心が和むなどということも高知市内では珍しい。

昔の土佐の人々はどこで花見をしていたのだろう。桜の木には寿命があるからか、桜の名所は時代によって異なる。幕末期の土佐の桜の名所などは、今はもう忘れ去られてしまっている。

「孕山」は史料に残るかつての桜の名所。幕末期の土佐の画人で桜画の名手であった楠瀬大枝が、毎年のように花見に出かけた地として日記『燧袋』の中にその地名が登場する。そもそも当時の「孕山」とはどこを指していたのかを探ってみると、文化十三（一八一六）年、永野美秋に誘われて行った花見で大枝が詠んだ和歌に「孕山 ひとりみきりとかたわきて 立むかひたる花相撲かな」とあり、孕山が「ひだりみぎり（左右）」に分かれて向かい合い、競うように桜花が咲

ている様子が表現されている。この和歌と、大枝が浦戸湾一帯を描いた『吸江図』（佐川町青源寺蔵）や、古い実測図に描きこまれた桜の分布とを照らすと、瓢箪型の浦戸湾のちょうどくびれを形作る部分、現在は西孕の地名が残っている一帯とその対岸とを合わせて「孕山」と呼んでいたのだと推測される。この浦戸湾のくびれを作る東西の山は、五台山の頂上からも眺めることができるが、日記によれば大枝は、時には浦戸湾に舟を出してお花見を楽しんだようだから、「花相撲」の光景ももしかしたら舟の上から見て親しんだ景色だったのかもしれない。

現在、西孕近辺を散策してみると、まばらにはあるが、西孕観音寺の本堂周辺や参道、大海津見神社の鳥居の附近、通称「孕トンネル」として知られる横浜トンネルの周辺など、今でも山間のところどころできれいな花を咲かせた桜の木に出会うことができている。かつて浦戸湾沿いに連れ立って桜を楽しんだ文人たちに想いを馳せながら、ささやかな桜探しをするのもまた乙なものだ。

市長コラム 内和外順

高知市長 岡崎誠也

ウクライナ侵攻

周到に準備されていたと考えられますが、2月24日、ロシア軍が軍事行動を起こし、ウクライナに侵攻しました。

明らかに国際法に違反しており、決して起こしてはならない侵略行為であります。

「ウクライナ」は、ロシアとポーランドの中間に位置する歴史豊かな美しい国であり、肥沃な草原地帯が多く、世界第2位の有数の小麦輸出国でもあります。強大なロシア連邦と西欧諸国とのさまに位置したことから、古代より幾多の戦禍に見舞われてきました。

近年は、ウクライナ南部に位置する黒海に面したクリミア半島には、冬場でも凍らない良港があるため、軍事戦略上の「不凍港」として、2014年に事実上、ロシアにクリミア半島が占領され、ロシア艦隊が軍事的に利用しています。

現に、ウクライナ侵攻の10日前の2月13日には、ロシアの黒海艦隊約30隻がクリミア半島周辺で大規模な軍事訓練を実施し



ています。欧州連合のNATO軍とロシア連邦とは、常に緊張関係にあります。

ウクライナはNATO軍には加盟していませんが、プーチン大統領は、恐らく、モスクワに近いロシア西部に隣接するバルト三国の「エストニア」「リトビア」「ラトビア」(リトニア)の各国がEU連合に加盟し、軍事同盟であるNATO軍に加わったことに恐怖を感じているのではないのでしょうか。

しかしながら、一方的な戦争行為をもって、ウクライナの領土を侵略し、平和に暮らしている人々を軍事で踏みつけることは、決して許すことはできず、一刻でも早く、ウクライナに平和が戻ることを切に願っています。



広告

騒音下でこそ役に立つ補聴器をあなたへ

補聴器の新たな時代の始まりです

先進の人工知能(AI)を搭載することで
より自然な聞こえを可能にしました

世界で数多くのアワードを受賞
「オーティコンモア」

新しい聞こえの世界を体験ください

安心の全国86店舗ネットワーク

新日本補聴器センター 高知店

認定技能者多数在籍 試聴・貸出・調整メンテナンスは全て無料で承ります。

高知市北本町2丁目1番12号 駐車場有り(ホテル港屋第1パーキング内)

営業時間 午前9時～午後5時 定休日 日曜・祝日・第4土曜

TEL 088-885-5855

※木・金曜日留守の場合があるためご連絡下さい。ご相談により、時間外相談・訪問も承ります。